



# がうぐたから音楽が

楽器をつくってうたってあそぼうヨ

△5分ぐらいでできたけど、いい音がするよ



△講師は国立音大の繁下先生

空き缶、ストローなど家の中にあるがらくたを、楽器に変身させ楽しく遊ぼうと、三月二日保健婦人センターで講演会がありました。参加したのは、保母さんや親子百六十人。ギターの弾き語りを交えたお話しのと、牛乳パックとストローで、ウグイス笛のような「ピッチパイプ」をつくりました。先生のギターと歌に合わせ、「ホーホケキョ」など、いろいろな音を出して楽しみました。



△30分ぐらいかかりますが、体への負担は軽い

二月二十一日、沼津の血液センターから五台の成分献血装置が、市庁舎に運び込まれました。この装置は、赤血球以外の血漿だけを採血するもので、血漿は病院で使われるほか、血友病などの治療に欠かせない血漿分画製剤の原料となります。この日の献血量は、二十四人から九・六㍑。「初めてで不安だったが、なんともなかった」とは献血した人のお話。これからも、公共施設や事業所で行われます。

## 体にやさしい成分献血



△プロ顔負けの作品がずらり

二月二十二日から六日間、くすのき学園作品展示即売会が、吉原のユニーでありました。作品は、血などの陶器やペーパーフラワーなど約五千点。人気があつたのは、陶器にペーパーフラワーを盛り合わせた二百円から千円の作品でした。「たくさん売れるといいな」という園生の期待どおり約七割が売れました。

## ふれあいききとめて

くすのき学園  
作品展示即売会